

ジュニア食品安全委員会

2012年8月8日、「ジュニア食品安全委員会」が開催されました。

URL ホーム > キッズボックスについて > ジュニア食品安全委員会平成19年～24年の
会合結果 > (夏休み子ども企画)平成24年度ジュニア食品安全委員会会合結果
<http://www.fsc.go.jp/koukan/junior2408/junior-tokyo2408.html>

鋭い質問が飛び出す、ジュニア食品安全委員会

2007年からスタートし、当委員会の夏の風物詩ともいえるジュニア食品安全委員会。今年も小学校5、6年生の皆さんとその保護者の方々をご参加くださいました。熊谷委員長から、ジュニア食品安全委員会委員「任命書」が全員に手渡され、クイズがスタート。その後、意見交換になりました。ジュニア委員から「ADI(一日摂取許容量)の考え方はどのように発見されたのか」「肉の生レバーは



食べてはいけないが、魚の刺身は食べていいのか」「世界では何人くらい食中毒になっているのか」など鋭い質問が多数出ました。クイズ正解者へのメダル授与と全員の記念撮影で会は終了。保護者の方からは、「これをきっかけに、子どもが食品の安全に興味を持つことを期待したい。」などの感想もいただきました。ご参加の皆さん、ありがとうございました。

食品に関するリスクコミュニケーション(意見交換会)

地域の専門家を対象とした意見交換会や、消費者団体との共催による意見交換会を開催しました。そのうち二つをご紹介します。

URL ホーム > 意見交換等 > 意見交換会、指導者育成講座及び関係団体等との懇談会の開催案内及び実績
<http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai-jisseki.html>

食品に関するリスクコミュニケーション (高知県・高知市) ～食品中の放射性物質～

2012年7月23日高知市で、学校給食関係者を対象とした意見交換会を開催しました。今回のテーマは「食品中の放射性物質」。食品中の放射性物質について理解を深めたい、という意欲的な参加者がたくさん集まりました。放射性物質の基本的なことや健康への影響、検査をはじめとする管理措置などに関する話を聞いて、活発な意見交換が行われました。食材の安全性や、学校給食一食分の検査方法に関する質問など、参加者の方々が、学校給食の現



場で直面している疑問や課題について、主催者側の職員がひとつひとつ丁寧な回答をしました。

食品のリスクを考えるワークショップ (山口県宇部市) ～食品添加物について～

食品安全委員会では、消費者団体との共催による意見交換会も開催しています。2012年8月22日には山口県、山口県地域消費者団体連絡協議会との共催で山口県宇部市で開催。食品添加物の健康影響や、検査の実施状況のお話を聞いた後、参加者は6名ほどのグループに分かれて、日頃感じている疑問や考えについて率直な意見交換を行いました。各グループの発表では、自分で出汁(だし)をとる派と市販の出汁(だし)を使う派がいることがわかり、食品



添加物のリスクや、食の安全を守る行政の仕組みを理解した上で、人それぞれの対応があることに、皆納得の表情をしていました。